



[平成22年度設置]

計画の区分：学部を設置

注1

東京医療保健大学 東が丘看護学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 青葉学園
平成22年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	東が丘看護学部等事務部
職名・氏名	部長 木原英三 係長 上原朝美
電話番号	03-5779-5031
（夜間）	03-5779-5031
F A X	03-5431-1481
e-mail	higashigaoka-po@thcu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	施設・設備の整備状況, 経費	10
4	既設大学等の状況	11
5	教員組織の状況	12
6	留意事項に対する履行状況等	19
7	その他全般的事項	20
	資料1	24
	資料2	38
	資料3	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 青葉学園

(2) 大学名

東京医療保健大学

(3) 大学の位置

〒152-8558

東京都目黒区東が丘二丁目5番23号（東京都品川区東五反田四丁目1番17号）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	タムラ テツオ 田村 哲夫		
学長	コバヤシ ヒロヨシ 小林 寛伊		
学部長・ 学科長	クサマ トモコ 草間 朋子		
学部長・ 学科長代		アワヤ ノリコ 栗屋 典子 (平成22年4月)	草間朋子教授は、都合により平成22年4月から平成24年3月まで非常勤であり、平成24年4月から専任として就任することから、栗屋典子教授を学部長・学科長代行とし、管理運営の万全を期している。(22)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
東が丘看護学部 看護学科 学士(看護学)	4 年	100 人	- 年次 人	400 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度				平均入学定員超過率	備 考
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
A 入学定員	(-)人 100	(-)人 -	(-)人 -	(-)人 -	1.04倍	
志願者数	(-)人 403	(-)人 -	(-)人 -	(-)人 -		
受験者数	(-)人 387	(-)人 -	(-)人 -	(-)人 -		
合格者数	(-)人 154	(-)人 -	(-)人 -	(-)人 -		
B 入学者数	(-)人 104	(-)人 -	(-)人 -	(-)人 -		
入学定員超過率 B/A	(-)人 1.04	(-)人 -	(-)人 -	(-)人 -		

- (注) ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度				備 考
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
1年次	[-] 104	[-] -	[-] -	[-] -	
2年次	/	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次	/	/	[-] -	[-] -	
4年次	/	/	/	[-] -	
計	[-] 104	[-] -	[-] -	[-] -	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [0] 0	(累積)計 [0] 104	[0%] 0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 104人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 []	(累積)計 []	[%] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		
平成24年度	計 []	(累積)計 []	[%] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			
平成25年度	計 []	(累積)計 []	[%] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

<東が丘看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎分野 (人間理解と自然科学)	哲学	1前		1								兼1
	倫理学	1前		1								兼1
	身体論	1前		1								兼1
	物質論	1前		1								兼1
	人間と社会生活(現代社会論)	1前	1									兼1
	人間といのち(生命科学)	1後 1前		1								兼1 時間割調整の結果、授業時期の変更。(22)
	人間関係論	1前		1								兼1 非常勤講師の変更。(22) 兼任 川口由紀子から谷川卓に変更。
	家族関係論	1前		1								兼1
	心理学	1前	1									兼1 非常勤講師の変更。(22) 兼任 神前裕子から小林未果に変更。
	認知心理学	1前		1								兼1 非常勤講師の変更。(22) 兼任 神前裕子から小林未果に変更。
	人間と法	1後 1前		1								兼1 時間割調整の結果、授業時期の変更。(22)
	性と文化	1前		1								兼1
	人間と芸術	1前		1								兼1
	論理的思考	1前	1									兼1
	数学基礎	1前		1								兼1
	生物学	1前		1								兼1
	化学	1前		1								兼1
	物理学	1前		1								兼1
	教育学	2前	2									兼1
	統計学	2後	1									兼1
	教育評価	2後	1									兼1
	組織論	1前		1								兼1
	マスメディア論	1後 1前		1								兼1 時間割調整の結果、授業時期の変更。(22)
国際関係論	1後 1前		1								兼1 非常勤講師の変更及び時間割調整の結果、授業時期の変更。(22) 兼任 田中亮三から日比野守男に変更。	
ボランティア論	1後 1前		1								兼1 時間割調整の結果、授業時期の変更。(22)	

基礎分野 (人間理解と自然科学)	生涯学習と自己実現	1後 →前		1					兼1 時間割調整の結果、授業時期の変更。(22)
	英語	1前	2						兼3 兼任教員から非常勤講師へ変更及び授業内容の充実を図るため、非常勤講師を追加。(22) 奥切恵准教授から秋山真一、拝田清、瀧口美佳に変更及び追加。
	英会話	1通 →前	2						兼4 時間割調整の結果、授業時期の変更、非常勤講師の変更及び授業内容の充実を図るため、非常勤講師を追加。(22) 兼任 桜内理恵から秋山真一に変更及び坂本裕子を追加。
	韓国語	2前		1					兼1
	中国語	2前		1					兼1
	フランス語	2前		1					兼1
専門基礎分野 (健康問題の解決)	解剖生理学Ⅰ (呼吸器・消化器・血液・循環器・泌尿器)	1前	2						兼2 授業内容の充実を図るため、非常勤講師の追加。(22) 兼任 甘利雅雄を追加。
	解剖生理学Ⅱ (神経系・骨筋系・内分泌系・生殖器官系・感覚器系)	1前 →後	2						兼2 系統別授業の見直しによる授業時期の変更及び授業内容の充実を図るため、非常勤講師の追加。(22) 兼任 甘利雅雄を追加。
	病理学	1後 →前	1						兼1 系統別授業の見直しによる授業時期の変更。(22)
	生化学	1後	1						兼1
	微生物学	1前	1						兼1
	臨床薬理学	1後	1						兼1
	治療学概論	1後	1						兼2
	疾病と治療Ⅰ(呼吸器系・消化器系)	1後	1						兼2
	疾病と治療Ⅱ(血液系・循環器系)	1後	1						兼1
	疾病と治療Ⅲ(神経系・骨筋系)	1後	1						兼2 授業内容の充実を図るため、非常勤講師の追加。(22) 兼任 臼井宏を追加。
	疾病と治療Ⅳ(泌尿器・生殖器官系・内分泌系)	2前	1						兼1
	疾病と治療Ⅴ(感覚器系・統合)	2前	1						兼1
	人間工学	2後		1					兼1
	臨床心理学	2後		1					兼1
	ライフサイクルと健康(成長発達と健康)	2後		1		1			
	臨床栄養学演習	2後	1						兼1
	臨床薬理学演習	2後	1						兼1
	臨床検査学演習	3前	1						兼1
	医療とME機器(画像診断)	2後		1					兼1
	医療と法(看護関係法規)	2後		1					兼1
国際医療論	2後		1				1		
政策医療論	1通	1						兼1	
保健医療福祉システム論	3前	2			1				
公衆衛生学	3前	1			1				
疫学と保健統計	2後	2					1		

(健康問題の解決 専門基礎分野)	医療・看護情報学の基礎	2後	1				1				
	英語論文の講読	3前	1							兼1	
	医療・看護情報学の応用と実践	3後		1		1					
	英語論文のクリティーク	3後		1						兼1	
専門分野(あらゆる状況の 対象への看護とキャリア開発)	A 基礎看護学	看護学概論	1前	1			1				
		看護倫理	1前	1			1				担当教員の変更。(22) 担当 草間朋子教授から栗屋典子教授 に変更。
		看護教育学	4後	1			1				
		ケアリング論	2前		1		1				
		看護におけるコミュニケーション	2前		1			1			
		家族看護学	2前		1			1			
		インタープロフェッショナルワーク 演習	2前	1					1		
		看護体験実習	1後	1				1		1	
	看護体験展開実習	1後	1			1			1		
	B 臨床看護技術学	フィジカルアセスメント	1通	1				1			
		臨床判断論	1後	1			1				授業内容の充実を図るため、専任教員の追 加。(22) 担当 松山友子教授を追加。
		看護実践技術論	1前	1			1	1			
		看護実践技術展開論Ⅰ(生活過程 における判断と援助)	1前	1			1				
		看護実践技術展開論Ⅱ(治癒を促 進する判断と援助)	1後	1				1			
		臨床判断実習	1後	1			1			1	
	基礎実践統合実習	2前	2					1	1		
	C 医療臨床実践看護学Ⅰ	看護過程と看護方法論	1後	1				1			
		クリティカルケア論	2後	1			1				
		終末期看護論	2後	1					1		
		クリティカルケアの探究	3前		1		1				
		終末期看護の探究	3前		1				1		
		リハビリテーション看護論	2前	1							兼1
		セルフコントロール支援論	2前	1							兼1
		クリティカルケア実習	2後~3通	2			1			1	
		終末期看護実習	2後~3通	2					1	1	
		周手術期看護実習	2後~3通		2			1		1	
	セルフコントロール支援実習	2後~3通		2				1	1		
	リハビリテーション看護実習	2後~3通		2			1		1		
D 医療臨床実践看護学Ⅱ	成長発達と看護	1後	1			1		1		授業内容の充実を図るため、専任教員の追 加。(22) 担当 村川陽子講師を追加。	
	成長発達各期の特徴と看護実践	1後	1			1		1		授業内容の充実を図るため、専任教員の追 加。(22) 担当 村川陽子講師を追加。	
	長寿健康援助論	1後	1			1					
	長寿看護実践論	2前	2					1			
	成育看護論Ⅰ(母性の健康と看 護)	1後	2			1			1	授業内容の充実を図るため、専任教員の追 加。(22) 担当 宮崎文子教授を追加。	

D 医療臨床実践看護学Ⅱ	成育看護論Ⅱ（小児の健康と看護）	1後	2			1		1			授業内容の充実を図るため、専任教員の追加。(22) 担当 村川陽子講師を追加。
	成育看護実践論Ⅰ（周産期における看護実践）	2前	2					1			
	成育看護実践論Ⅱ（小児の健康障害と看護実践）	2後	2					1			
	障害者保健論（精神保健含む）	1後	1			1					
	障害者看護実践論	2前	1					1			
	在宅看護論	2後	1					1			
	在宅看護実践論	2後	1					1			
	精神看護実践論	2前	1						1		
	長寿看護学実習	2後～3通	2					1		1	
	精神看護学実習	2後～3通	2			1				1	
	成育看護学実習Ⅰ（母性）	2後～3通	2					1		1	
	成育看護学実習Ⅱ（小児）	2後～3通	2					1		1	
	障害者看護実習	2後～3通		2				1		1	
	在宅療養支援実習	4前	2					1		1	
E 地域看護学	地域看護学概論	3前	1			1					
	地域看護管理論	3前	2			1					
	地域看護活動展開論	3後	2				1				
	地域診断論	3後	1				1				
	職場・学校における健康論	3前		1		1					
	生活者からみた場と物の看護論	3前		1				1			
	地域看護活動展開論実習	4前	2					1		1	
	地域看護管理論実習	4前	2					1		1	
F 研究	看護研究	2後	1			1					
	看護研究演習Ⅰ（看護研究計画書の作成）	3後	1			1					
	看護研究演習Ⅱ（看護研究の実践）	4前	1			1					
	卒業研究	4後	2			8	5	11	2		
	ナレッジ統合実習	3後	2			1				1	
G 看護マネジメント学	看護マネジメント論	2前	1								兼1
	医療安全学	2前	1				1				
	災害看護学	4前	1								兼1
	看護経済学	4後		1							兼1
	感染症看護論	4後		1							兼1
	マネジメント実習	4前	2					1		1	
H キャリア開発	看護職とキャリア形成	4後		1							兼1
	リフレクション論	4後		1							兼1
	先端医療看護	4後		1							兼1
	看護専門職論	2前	1				1				
	チーム医療とスキルミクス演習	4前	1			1				1	

- (注) ・届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
・届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
・「配当年度」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 84	科目 47	科目 0	科目 131	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

(注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

(注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動場は、本学医療保健 学部と共用 市川運動場 (約30Km 約1時間20分) 桜グラウンド (約6.5Km 約40分) 校地借用増(22) 届出学部 借用面積 5,960㎡ 8,098㎡ (H22. 4. 1からH24. 3. 31) 5,305㎡ (H24. 4. 1からH24. 3. 31)			
	校舎敷地	12,573 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	12,573 ㎡				
	運動場用地	10,503 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	10,503 ㎡				
	小 計	23,076 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	23,076 ㎡				
	そ の 他	814 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	814 ㎡				
	合 計	23,890 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	23,890 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎借用増(22) 届出学部 借用面積 4,821㎡ 7,986㎡ (H22. 4. 1からH24. 3. 31) 7,455㎡ (H24. 4. 1からH74. 3. 31)			
		20,167 -19,263 ㎡ (㎡)	0 ㎡ (㎡)	0 ㎡ (㎡)	20,167 -19,263 ㎡ (㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 改修等に伴う増(22)		
		30 -29 室	17 -15 室	16 室	5 室 (補助職員 1人)	0 室 (補助職員 一人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	東が丘看護学部 看護学科			29 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	電子ジャーナルは、附 属世田谷図書館で集中 管理	
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 〔うち外国書〕					点
	東が丘看護学部 看護学科	6,700 [540] (2,500 [200])	80 [15] (30 [5])	1,050 [0] (1,050 [0])	270 (100)	3,061 (2,781)	95 (95)		
	計	6,700 [540] (2,500 [200])	80 [15] (30 [5])	1,050 [0] (1,050 [0])	270 (100)	3,061 (2,781)	95 (95)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	1,070 ㎡		217		70,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	2,241 ㎡		市川運動場		桜グラウンド (多目的屋外運動場)				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	400千円	400千円	図書購入費	43,300千円	35,000千円	35,000千円	
	共 同 研 究 費 等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	117,199千円	26,000千円	26,000千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,947.5千円	1,479.5千円	1,579.5千円	1,479.5千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学経常経費補助金						

(注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京医療保健大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
医療保健学部								
看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	1.19	平成17年度	五反田キャンパス 東京都品川区 東五反田4-1-17
医療栄養学科	4	100	—	400	学士 (栄養学)	1.09	平成17年度	世田谷キャンパス 東京都世田谷区 世田谷3-11-3
医療情報学科	4	80	—	320	学士 (医療情報学)	0.90	平成17年度	
大学院								
医療保健学研究科								
医療保健学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (看護学) (臨床制御学) (医療栄養学) (医療保健情報学)	1.17	平成19年度	五反田キャンパス 東京都品川区 東五反田4-1-17
医療保健学専攻 (博士課程)	3	4	—	12	博士 (臨床制御学)	1.25	平成21年度	五反田キャンパス 東京都品川区 東五反田4-1-17
看護学研究科								
看護学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (看護学)	1.05	平成22年度	国立病院機構キャンパス 東京都目黒区 東が丘2-5-23

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<東が丘看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
				看護倫理	専任	教授 (学部長代行)	粟屋 典子	平成22年4月	看護倫理	草間朋子教授が兼任となったため、専任教員の補充(22)
専任	教授 (学部長)	草間 朋子	平成22年4月	看護研究 看護研究演習Ⅰ (看護研究計画書の作成) 卒業研究 チーム医療とスキルミクス演習	専任	教授	草間 朋子	平成24年4月	看護研究 看護研究演習Ⅰ (看護研究計画書の作成) 卒業研究 チーム医療とスキルミクス演習	
					兼任	教授 (非常勤)	草間 朋子	平成22年4月	看護研究	都合により、平成22年4月から平成24年3月まで兼任として授業を担当する。 平成24年4月から専任教員として就任する予定である。(22)
専任	教授	松山 友子	平成22年4月	看護体験展開実習 臨床判断論 看護実践技術展開論Ⅰ(生活過程における判断と援助) 臨床判断実習 卒業研究					看護体験展開実習 臨床判断論 看護実践技術展開論Ⅰ(生活過程における判断と援助) 臨床判断実習 卒業研究 看護実践技術論	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
専任	教授	長谷川 雅美	平成25年4月	精神看護学実習 卒業研究						
兼任	講師	長谷川 雅美	平成23年10月	精神看護学実習						
専任	教授	小村 三千代	平成23年4月	成長発達と看護 成長発達各期の特徴と看護実践 成育看護論Ⅱ(小児の健康と看護) 卒業研究						
兼任	講師	小村 三千代	平成22年10月	成長発達と看護 成長発達各期の特徴と看護実践 成育看護論Ⅱ(小児の健康と看護)						
専任	教授	清水 洋子	平成22年4月	地域看護学概論 地域看護管理論 職場・学校における健康論 卒業研究						
専任	教授	浅野 妙子	平成23年4月	ケアリング論 クリティカルケア論 クリティカルケアの探究 クリティカルケア実習 長寿健康援助論 卒業研究						
兼任	講師	浅野 妙子	平成22年10月	長寿健康援助論						

専	教授	宮崎 文子	平成22年4月	看護学概論 看護教育学 卒業研究 ナレッジ統合実習					成育看護論Ⅰ（母性の健康と看護）	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
専	教授	今井 秀樹	平成22年4月	ライフサイクルと健康（成長発達と健康） 公衆衛生学 保健医療福祉システム論 医療・看護情報学の応用と実践 看護研究演習Ⅱ（看護研究の実践） 卒業研究						
専	准教授	古都 昌子	平成22年4月	看護過程と看護方法論 看護におけるコミュニケーション 医療安全学 看護実践技術論 卒業研究						
専	准教授	金子 あけみ	平成22年4月	家族看護学 地域看護活動展開論 地域診断論 地域看護管理論実習 看護専門職論 卒業研究						
専	准教授	穴沢 小百合	平成22年4月	看護体験実習 フィジカルアセスメント 看護実践技術展開論Ⅱ（治癒を促進する判断と援助） 卒業研究						
専	准教授	田中 留伊	平成22年4月	障害者保健論（精神保健含む） 卒業研究						
専	准教授	石川 倫子	平成22年4月	周手術期看護実習 リハビリテーション看護実習 卒業研究						
専	講師	坂本 祐子	平成22年4月	終末期看護論 終末期看護の探究 終末期看護実習 卒業研究						
専	講師	石渕 夏子	平成22年4月	成育看護実践論Ⅰ（周産期における看護実践） 成育看護学実習Ⅰ（母性） 卒業研究	専	講師	渡邊 淳子	平成22年4月	成育看護実践論Ⅰ（周産期における看護実践） 成育看護学実習Ⅰ（母性） 卒業研究	平成21年12月就任辞退 石渕 夏子 一身上の都合
専	講師	岩本 郁子	平成24年4月	マネジメント実習 卒業研究						
専	講師	村川 陽子	平成22年4月	成育看護実践論Ⅱ（小児の健康障害と看護実践） 成育看護学実習Ⅱ（小児） 卒業研究					成長発達と看護 成長発達各期の特徴と看護実践 成育看護論Ⅱ（小児の健康と看護）	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)

専	講師	伊藤 桂子	平成22年4月	障害者看護実践論 障害者看護実習 卒業研究						
専	講師	岩淵 起江	平成24年4月	長寿看護実践論 長寿看護学実習 セルフコントロール 支援実習 卒業研究						
兼任	講師	岩淵 起江	平成23年4月	長寿看護実践論 長寿看護学実習 セルフコントロール 支援実習						
専	講師	吉満 祥子	平成23年4月	基礎実践統合実習 卒業研究						
専	講師	加藤 章子	平成24年4月	国際医療論 卒業研究						
兼任	講師	加藤 章子	平成23年10月	国際医療論						
専	講師	松沼 瑠美子	平成22年4月	在宅看護実践論 在宅療養支援実習 卒業研究						
専	講師	小宇田 智子	平成22年4月	疫学と保健統計 医療・看護情報学 の基礎 卒業研究						
専	講師	佐藤 潤	平成22年4月	在宅看護論 地域看護活動展開 論実習 生活者からみた場 と物の看護論 インタープロ フェッショナル ワーク演習 卒業研究						
専	助教	中村 裕美	平成22年4月	精神看護実践論 卒業研究						
専	助教	矢田 奈都子	平成22年4月	成育看護論Ⅰ（母 性の健康と看護） 卒業研究						
兼任	教授	比江島 欣慎	平成23年10月	統計学						
兼任	教授	堀 和郎	平成22年4月	教育学 教育評価						
兼任	准教授	奥切 恵	平成22年4月	英語 英語論文の講読 英語論文のクリ ティーク	兼任	講師	秋山 真一	平成22年4月	英語	都合により非常勤講師に変更。 (22)
兼任	講師	清水 雅富	平成22年4月	人間といのち(生 命科学)						
兼任	講師	山本 信裕	平成22年4月	哲学 倫理学						
兼任	講師	高橋 昌一郎	平成22年4月	身体論 物質論 論理的思考						
兼任	講師	坪井 健	平成22年4月	人間と社会生活 (現代社会論)						

兼任	講師	川口 由紀子	平成22年4月	人間関係論	兼任	講師	谷川 卓	平成22年4月	人間関係論	都合により非常勤講師の変更。 (22)
兼任	講師	熊澤 幸子	平成22年4月	家族関係論						
兼任	講師	神前 裕子	平成22年4月	心理学 認知心理学	兼任	講師	小林 未果	平成22年4月	心理学 認知心理学	都合により非常勤講師の変更。 (22)
兼任	講師	横溝 久美	平成22年4月	人間と法						
兼任	講師	望月 重信	平成22年4月	性と文化						
兼任	講師	加我 君孝	平成22年4月	人間と芸術						
兼任	講師	川崎 雅人	平成22年4月	数学基礎						
兼任	講師	小野 新平	平成22年4月	生物学						
兼任	講師	森 幸恵	平成22年4月	化学						
兼任	講師	山路 進	平成22年4月	物理学						
兼任	講師	河村 博江	平成22年4月	組織論 看護経済学						
兼任	講師	林 香織	平成22年4月	マスメディア論						
兼任	講師	田中 亮三	平成22年4月	国際関係論	兼任	講師	日比野 守男	平成22年4月	国際関係論	都合により非常勤講師の変更。 (22)
兼任	講師	齋藤 信夫	平成22年4月	ボランティア論						
兼任	講師	手打 明敏	平成22年4月	生涯学習と自己実現						
兼任	講師	桜内 理恵	平成22年4月	英会話	兼任	講師	秋山 真一	平成22年4月	英会話	都合により非常勤講師の変更。 (22)
兼任	講師	拝田 清	平成22年4月	英会話					英会話 英語	授業内容の充実を図るため、非常勤講師の追加。(22)
兼任	講師	瀧口 美佳	平成22年4月	英会話					英会話 英語	授業内容の充実を図るため、非常勤講師の追加。(22)
					兼任	講師	坂本 裕子	平成22年4月	英会話	授業内容の充実を図るため、非常勤講師の追加。(22)
兼任	講師	竹内 美樹	平成23年4月	韓国語						
兼任	講師	李 克城	平成23年4月	中国語						
兼任	講師	ベアトリス マレシヤル	平成23年4月	フランス語						

兼任	講師	直江 史郎	平成22年4月	解剖生理学Ⅰ (呼吸器・消化器・血液・循環器・泌尿器) 解剖生理学Ⅱ (神経系・骨筋系・内分泌系・生殖系・感覚器系)						
					兼任	講師	甘利 雅雄	平成22年4月	解剖生理学Ⅰ (呼吸器・消化器・血液・循環器・泌尿器) 解剖生理学Ⅱ (神経系・骨筋系・内分泌系・生殖系・感覚器系)	授業内容の充実を図るため、非常勤講師の追加。(22)
兼任	講師	倉持 茂	平成22年4月	病理学						
兼任	講師	吉川 邦衛	平成22年10月	生化学						
兼任	講師	宇田川 悦子	平成22年4月	微生物学						
兼任	講師	鈴木 義彦	平成22年10月	臨床薬理学 臨床薬理学演習						
兼任	講師	松本 純夫	平成22年4月	先端医療看護						
兼任	講師	萬 篤憲	平成22年10月	治療学概論						
兼任	講師	中島 由規	平成22年10月	治療学概論						
兼任	講師	林 茂樹	平成22年10月	疾病と治療Ⅰ(呼吸器系・消化器系)						
兼任	講師	小山田 吉孝	平成22年10月	疾病と治療Ⅰ(呼吸器系・消化器系)						
兼任	講師	矢野 尊啓	平成22年10月	疾病と治療Ⅱ(血液系・循環器系)						
兼任	講師	川井 充	平成22年10月	疾病と治療Ⅲ(神経系・骨筋系)						
					兼任	講師	臼井 宏	平成22年4月	疾病と治療Ⅲ(神経系・骨筋系)	授業内容の充実を図るため、非常勤講師の追加。(22)
兼任	講師	斉藤 史郎	平成23年4月	疾病と治療Ⅳ(泌尿器・生殖系・内分泌系)						
兼任	講師	尾藤 誠司	平成23年4月	疾病と治療Ⅴ(感覚器系・統合) リフレクション論						
兼任	講師	大谷 華	平成23年10月	人間工学						
兼任	講師	樋山 光教	平成23年10月	臨床心理学						
兼任	講師	石長 孝二郎	平成23年10月	臨床栄養学演習						
兼任	講師	大島 久二	平成24年4月	臨床検査学演習						
兼任	講師	磯部 義憲	平成23年10月	医療とME機器 (画像診断)						
兼任	講師	中澤 一隆	平成23年10月	医療と法(看護関係法規)						

兼任	講師	矢崎 義雄	平成22年4月	政策医療論							
兼任	講師	水口 薫	平成23年4月	リハビリテーション看護論							
兼任	講師	田中 伸	平成23年4月	セルフコントロール支援論							
兼任	講師	山西 文子	平成23年4月	看護マネジメント 看護職とキャリア形成							
兼任	講師	高里 良男	平成25年4月	災害看護学							
兼任	講師	岩田 敏	平成25年10月	感染症看護論							

(注) ・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
8	5	11	2	26	10	6	5	7	2	20	7	
(5)	(5)	(7)	(2)	(19)	(4)	[+1]	[0]	[0]	[0]	[+1]	[+3]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	石 淵 夏子	本人から、一身上の都合により就任を辞退したい旨、申し出があったため。
2			
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学部開設前に、石淵夏子の後任として、渡邊淳子を補充したため、授業については支障なく実施。
--

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<東が丘看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 施設・設備</p> <p>校地 借用面積5,960㎡ (H22.4.1からH24.3.31)</p> <p>校舎 借用面積4,821㎡ (H22.4.1からH24.3.31)</p>	<p>① 国立病院機構から借用する校地校舎の拡充に伴い、学生の修学環境を改善するため整備計画の一部変更を行った。</p> <p>校地 借用面積5,960㎡から8,098㎡に増 (H22.4.1からH24.3.31)</p> <p>校舎 借用面積4,821㎡から7,986㎡に増 (H22.4.1からH24.3.31)</p> <p>(添付資料1) 「校舎等建物の配置図」、「配置図」、「東が丘看護学部等校舎主要室リスト」、「校舎等建物平面図」、「東京医療保健大学東が丘看護学部等校舎主要室リスト 新旧対照表」 参照</p>

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教員の資質の維持向上を図るため、FD委員会(学長を委員長、学長補佐1名、各学科教員5名、大学経営会議室長、事務局長、企画部長、教務部長 計11名をもって構成)を設置している。</p> <p>・ FD委員会規程(添付資料2)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>平成21年度における委員会の開催状況は次のとおり。</p> <p>第1回 平成21年 7月15日(水) 委員11名全員出席。</p> <p>第2回 平成21年10月14日(水) 同上。</p> <p>第3回 平成21年10月28日(水) 同上。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内容・方法の改善を図ること。 ・ 教員個人々の教育力・研究力の維持向上を図ること。 ・ 大学運営に対する意識の啓発や学生支援のあり方等に関する研修会等を実施し大学教員としての専門的な能力を高めること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業評価アンケートの実施・公表。（添付資料3）
- ・教育力の向上等を図るための東京医療保健大学を語る会の実施。
- ・各学科における教員活動報告会の実施。

b 実施方法

- ・平成21年度においては、教職員(大学院担当教員、非常勤教員を含む)を対象として「東京医療保健大学を語る会」を実施した。
- ・語る会では、「教育力の向上を目指して」の大テーマのもと、「自ら学ぶ学習」、「学科を越えた交流・学習」及び「英語教育の充実」の各テーマについて、どのような工夫・改善を行っているか、3学科及び大学院担当教員から各1名(計4名)の教員が発表を行うとともに、課題等は何かなど多面的かつ多角的に議論・意見交換を行っており、各教員にとって授業内容・方法の改善に資するものとなった。
- ・また、本学では開学当初の平成17年度から全授業科目について学生による授業評価アンケートを実施している。平成20年度についても前期・後期の年2回実施(アンケートの回答率は81%)したが、この結果を平成21年度に当該教員に配布し、感想及び授業内容・方法への改善等の取り組みについて記述したものを各学科長がとりまとめ、授業評価アンケート結果とともに公表し、掲示を行っている。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・平成21年度の「東京医療保健大学を語る会」(21.10.28(水)17:30~19:00)における教職員の参加状況。
参加者数66名、参加率53.2%(21.10.1現在専任教員84名、専任職員40名 計124名 $66/124 \times 100 = 53.2\%$)。
終了後のアンケート実施状況、41名から回答あり。回収率62.1%($41/66 \times 100 = 62.1\%$)。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・「東京医療保健大学を語る会」における「教育力の向上を目指して」に関する議論・意見交換を踏まえ、各教員が授業内容・方法の改善充実を図ることとしている。
- ・また、授業評価アンケートの実施結果を学内に公表・掲示、自己点検・評価報告書にも掲載し、それを本学ウェブサイトにおいて公表していることから、学内外からの意見や感想等を踏まえて授業内容・方法の一層の改善・充実が図られている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・本学学則第4条(注)に則り、本学全体の教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、自己点検・評価委員会(委員長は学長)を設置している。

(注)第4条 本学は、教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

- 2 本学に自己点検・評価を行うため、東京医療保健大学自己点検・評価委員会を独立した特別委員会として設置する。
- 3 自己点検・評価に関する事項は別に定める。

- ・自己点検・評価委員会においては、本学の建学の精神及び教育目標・教育目的を具現化するために、教育研究活動に必要な組織・制度と諸条件を整備し、その機能を十分発揮できるよう本学の教育研究に関する活動状況並びに組織、施設・設備、運営状況等について、自己点検・評価を実施するとともに、所要の改善を図ることとしている。
- ・本学においては、平成20年度に開学後初となる自己点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめ、ウェブサイトに公表したが、平成21年度においても自己点検・評価を実施し、公表を行っている。
- ・なお、平成23年度には、大学基準協会による大学評価(認証評価)を受審することとしているが、これにより教育研究水準の維持向上及び質の保証に努めるとともに社会に対する説明責任を果たすこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成21年11月 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書については、本学の大学経営会議及び理事会・評議員会において審議・承認を経た後、ウェブサイト上に公開するとともに、報告書の印刷物を文部科学省、私学事業団、大学基準協会等関係機関に配布している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成23年度に財団法人大学基準協会の認証評価を受審予定。

(注) ・ 届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 6月 30日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.thcu.ac.jp>)

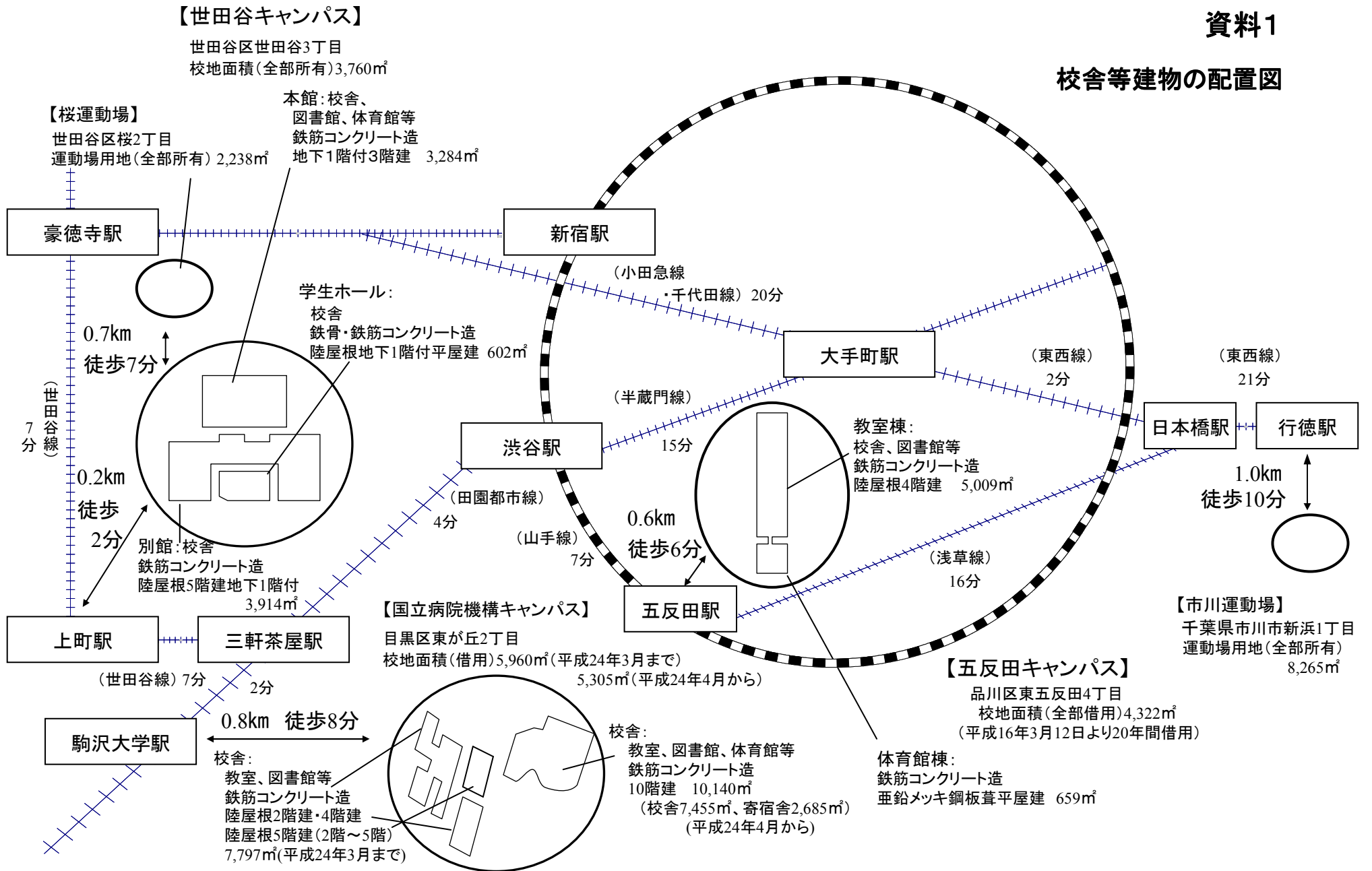
(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

資料1

校舎等建物の配置図



配置図

都市計画道路

マストライフA-F
(リース宿舎)

東が丘看護学部
看護学研究科
4F
5F
2F

東が丘看護学部
看護学研究科
10F

凡例

- 平成22年4月から使用
- 平成24年4月から使用

S=1/2100

東が丘看護学部等校舎 主要室リスト

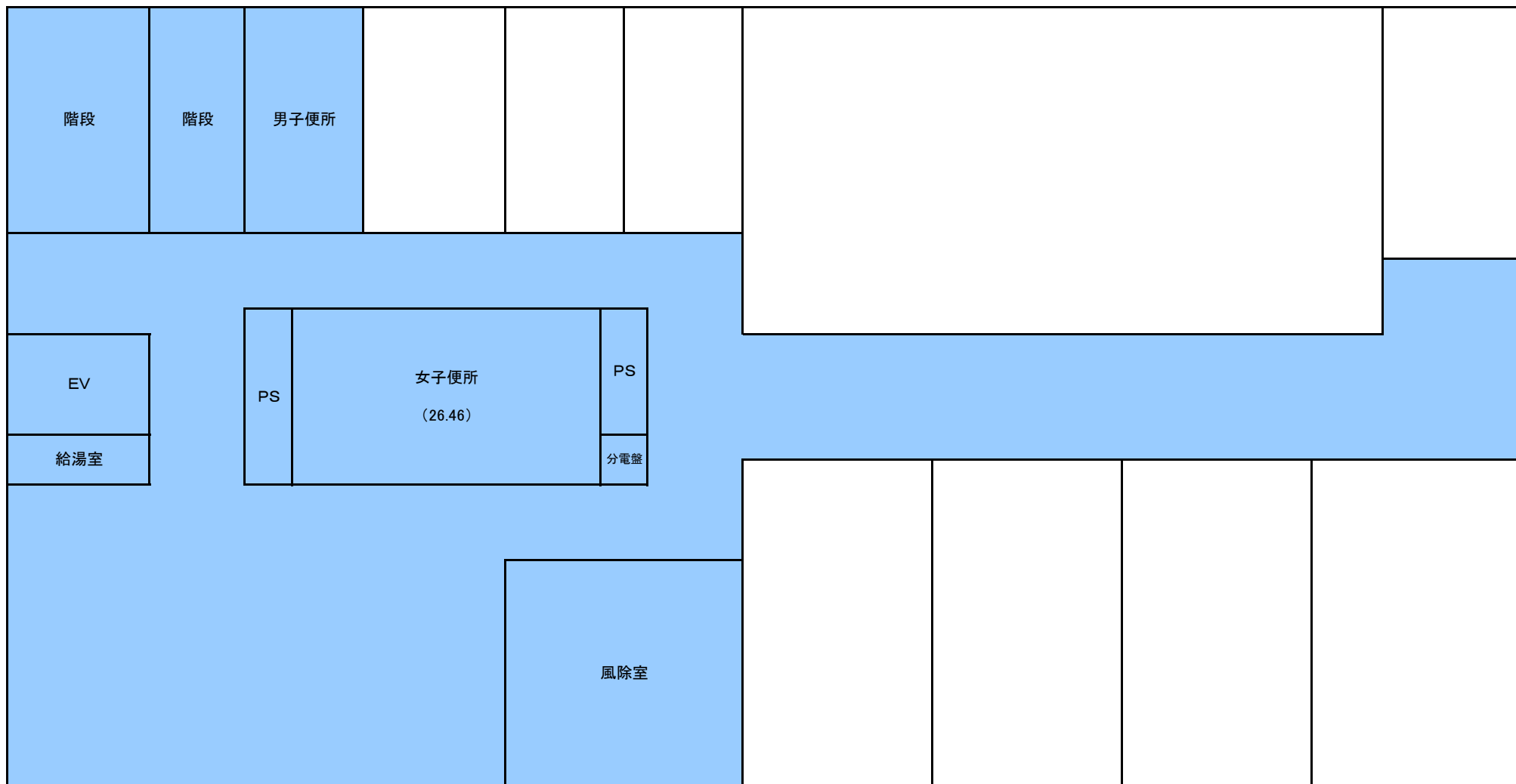
平成22年度～平成23年度

NO	室名	面積(m ²)	棟	階数	備考
1	講義室3	66.30	旧看護研修研究センター棟	2F	
2	講義室4	62.05	〃	2F	
3	講義室6	88.40	〃	2F	
4	講義室5(パソコン実習室)	90.23	〃	2F	
5	研究室1	16.47	〃	2F	
6	研究室2	16.47	〃	2F	
7	研究室3	13.69	〃	2F	
8	研究室4	13.83	〃	2F	
9	学部長室	28.77	〃	2F	
10	会議室1	28.91	〃	2F	
11	学生相談室	14.53	〃	2F	
12	保健室	14.38	〃	2F	
13	器材庫1	23.93	〃	2F	
14	倉庫1	8.37	〃	2F	
15	実習室1(在宅看護実習室)・大教室	152.28	〃	3F	
16	実習室2(基礎・成人・老年看護)	178.63	〃	3F	
17	研究室5	15.08	〃	3F	
18	研究室6	15.08	〃	3F	
19	研究室7	15.08	〃	3F	
20	研究室8	16.47	〃	3F	
21	研究室9	13.69	〃	3F	
22	研究室10	13.83	〃	3F	
23	演習室1	28.91	〃	3F	
24	演習室2	28.91	〃	3F	
25	倉庫2	8.37	〃	3F	
26	図書室	191.24	〃	4F	
27	書庫	40.74	〃	4F	
28	講義室1	46.03	〃	4F	
29	講義室2	44.20	〃	4F	
30	セミナー室1	44.20	〃	4F	
31	セミナー室2	44.20	〃	4F	
32	研究室11	14.50	〃	4F	
33	研究室12	14.27	〃	4F	
34	研究室13	16.47	〃	4F	
35	研究室14	16.47	〃	4F	
36	セミナー室3	27.52	〃	4F	
37	倉庫3	8.37	〃	4F	
38	講義室7	247.46	〃	5F	
39	講義室7準備室(サーバー室)	16.47	〃	5F	
40	会議室2	45.12	〃	5F	
41	助手室	45.12	〃	5F	
42	研究室15	15.08	〃	5F	
43	研究室16	15.08	〃	5F	
44	研究室17	15.08	〃	5F	
45	研究室18	15.08	〃	5F	
46	研究室19	15.08	〃	5F	
47	研究室20	15.08	〃	5F	
48	研究室21	15.08	〃	5F	
49	研究室22	15.08	〃	5F	
50	器材庫2	13.57	〃	5F	
51	演習室3	27.38	〃	5F	
52	倉庫4	8.37	〃	5F	
53	女子ロッカー室	80.50	旧機構研修センター棟	1F	
54	男子ロッカー室	18.77	〃	1F	
55	学生ホール	94.36	〃	1F	
56	事務室1	35.04	〃	1F	
57	事務室2	35.00	〃	1F	
58	事務室3	44.87	〃	1F	
59	入試室	40.72	〃	1F	
60	講師控室	36.91	〃	1F	

NO	室名	面積(m ²)	棟	階数	備考
61	サーバー室	18.21	〃	1F	
62	講堂	260.00	〃	1F	
63	倉庫5	24.00	〃	1F	
64	講義室8	138.60	〃	2F	
65	実習室3(母性・小児看護)	140.10	〃	2F	
66	院生室1	60.00	〃	2F	
67	院生室2	60.00	〃	2F	
68	自習室1	60.00	〃	2F	
69	自習室2	58.38	〃	2F	
70	倉庫6	25.55	〃	2F	
71	食堂	135.00	旧機構研修センター宿舎棟	1F	

校舎等建物平面図

旧看護研修研究センター棟(平成22年度～平成23年度)



1階



:学部専用



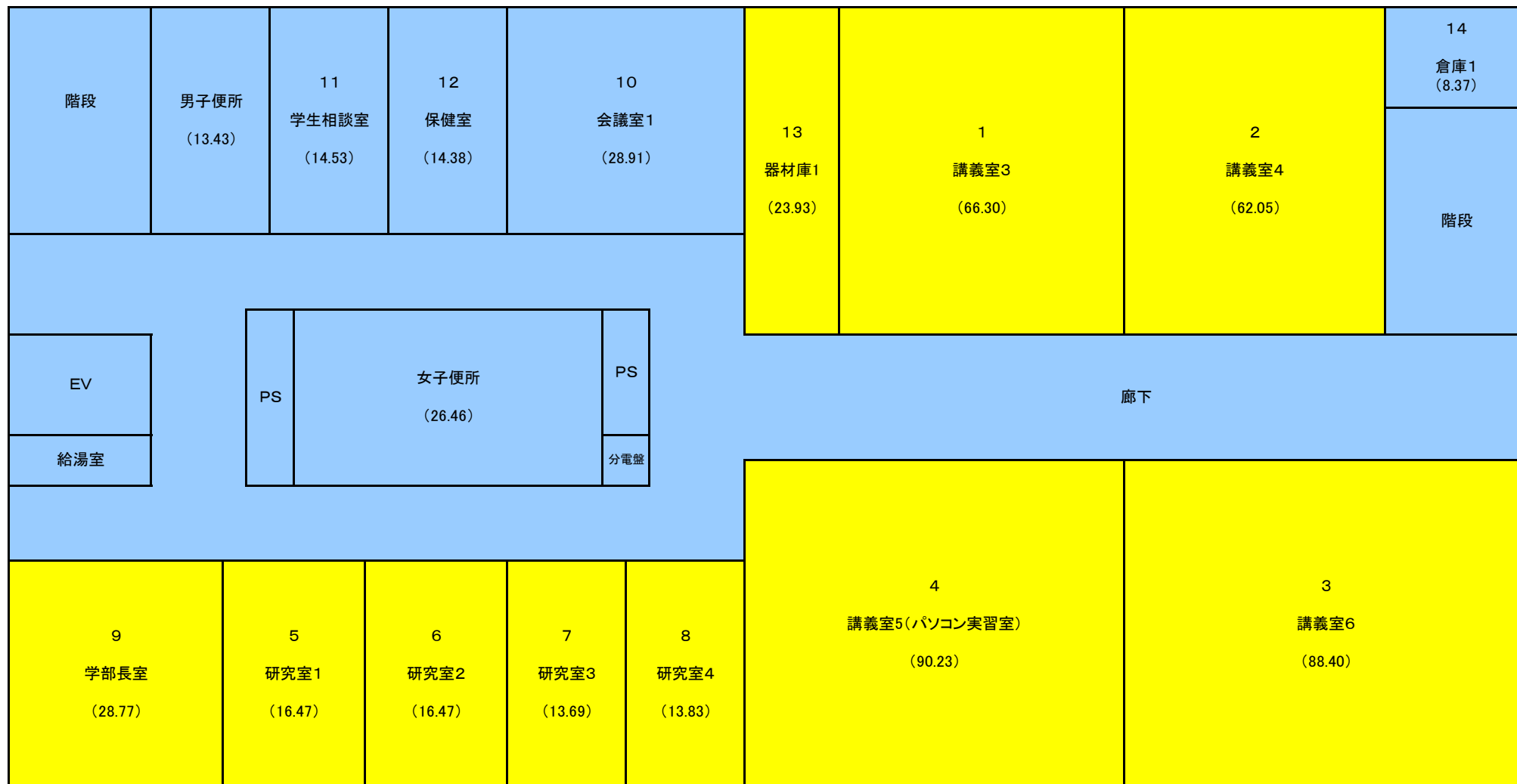
:大学院専用



:共用

注)室名下段は面積(単位㎡)

旧看護研修研究センター棟(平成22年度～平成23年度)

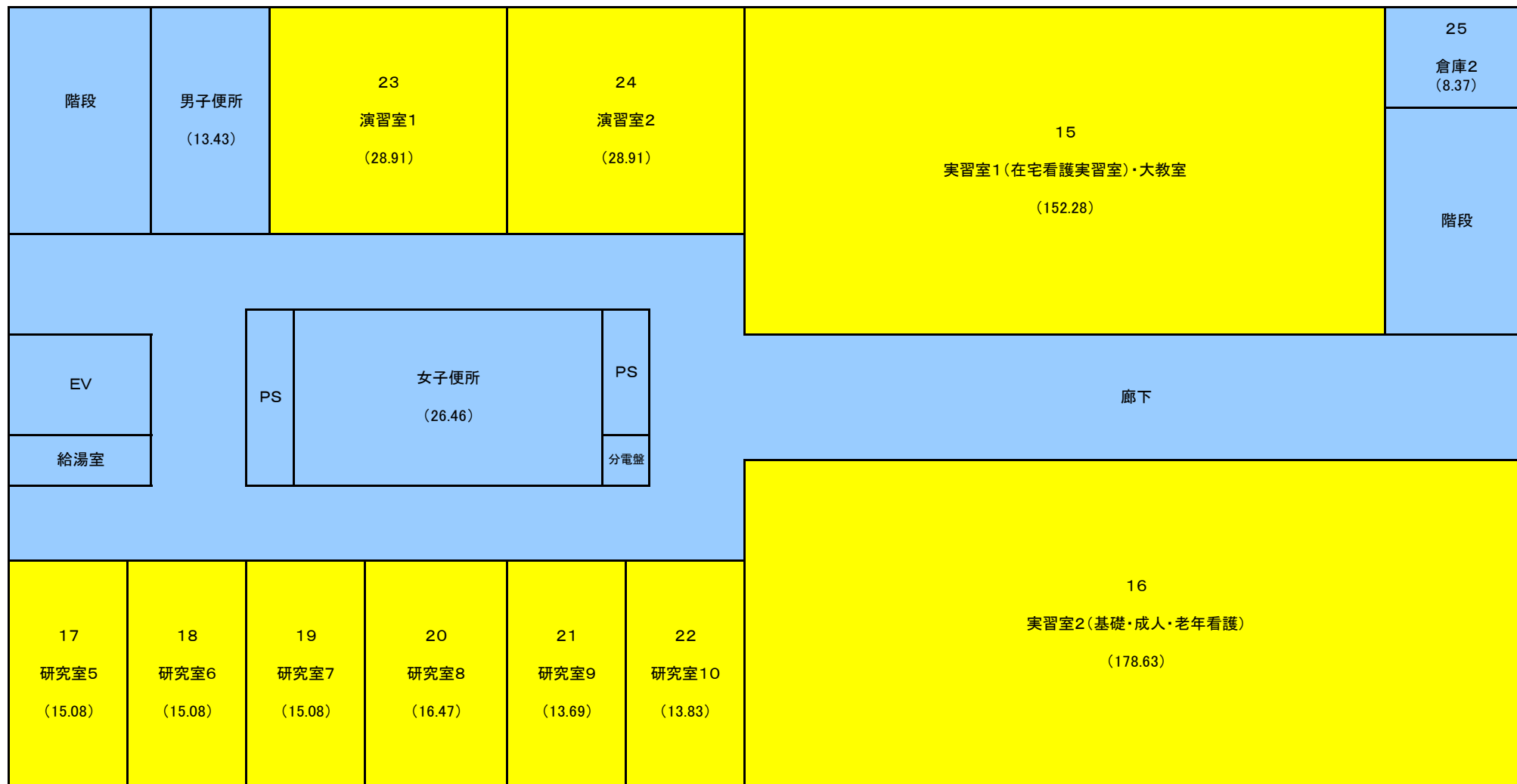


2階

: 学部専用
 : 大学院専用
 : 共用

注) 室名下段は面積(単位m²)

旧看護研修研究センター棟(平成22年度～平成23年度)

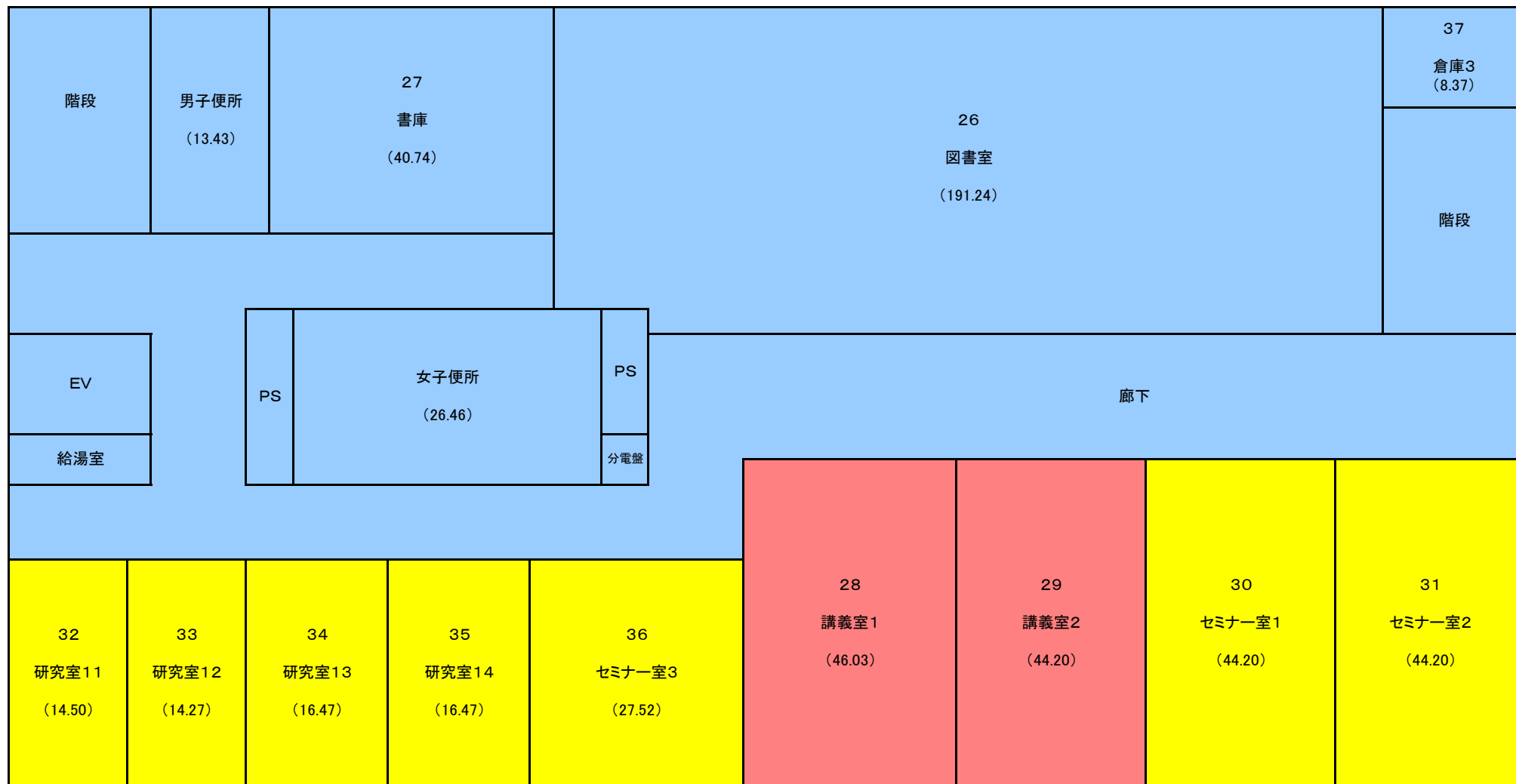


3階

黄色 : 学部専用 オレンジ : 大学院専用 水色 : 共用

注) 室名下段は面積(単位m²)

旧看護研修研究センター棟(平成22年度～平成23年度)

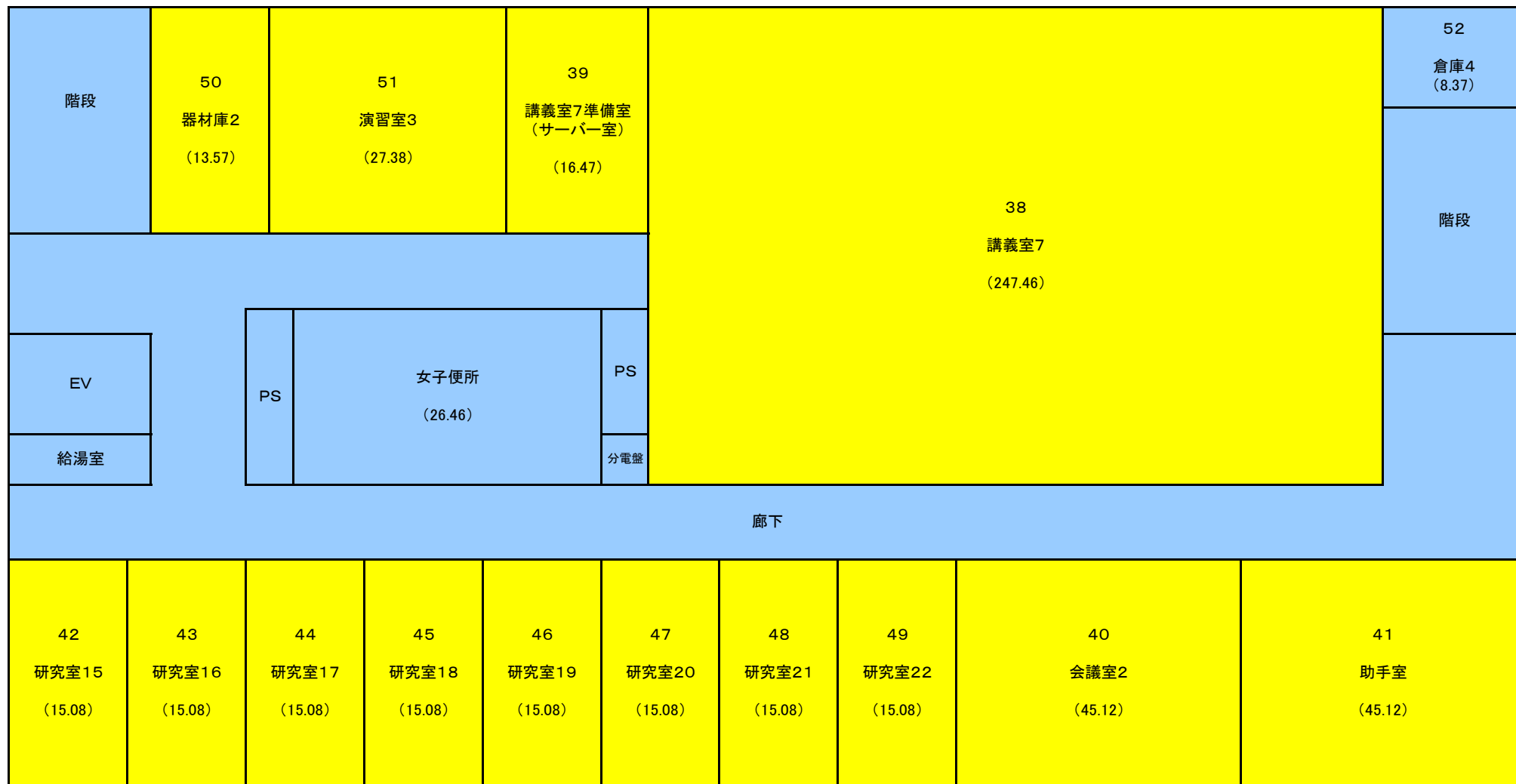


4階

黄色 : 学部専用 オレンジ : 大学院専用 水色 : 共用

注) 室名下段は面積(単位m²)

旧看護研修研究センター棟(平成22年度～平成23年度)



5階

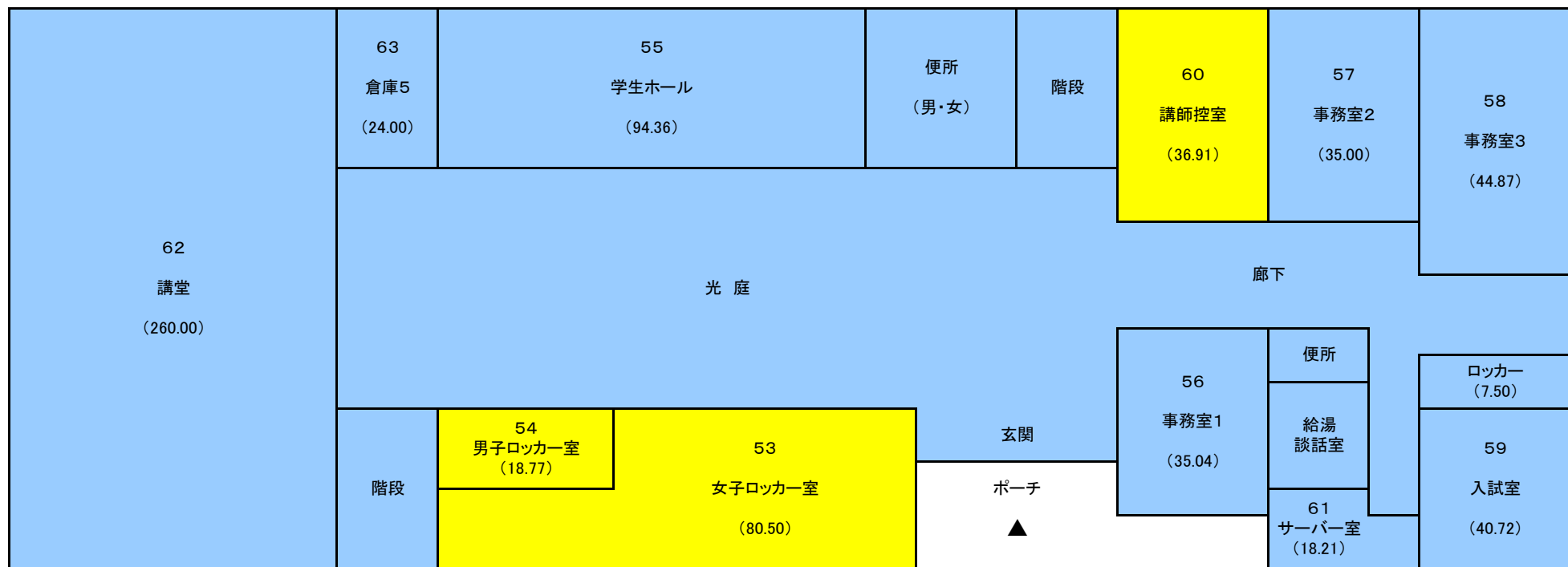
黄色 : 学部専用

オレンジ : 大学院専用

水色 : 共用

注) 室名下段は面積(単位m²)

旧機構研修センター棟(平成22年度～平成23年度)



1階

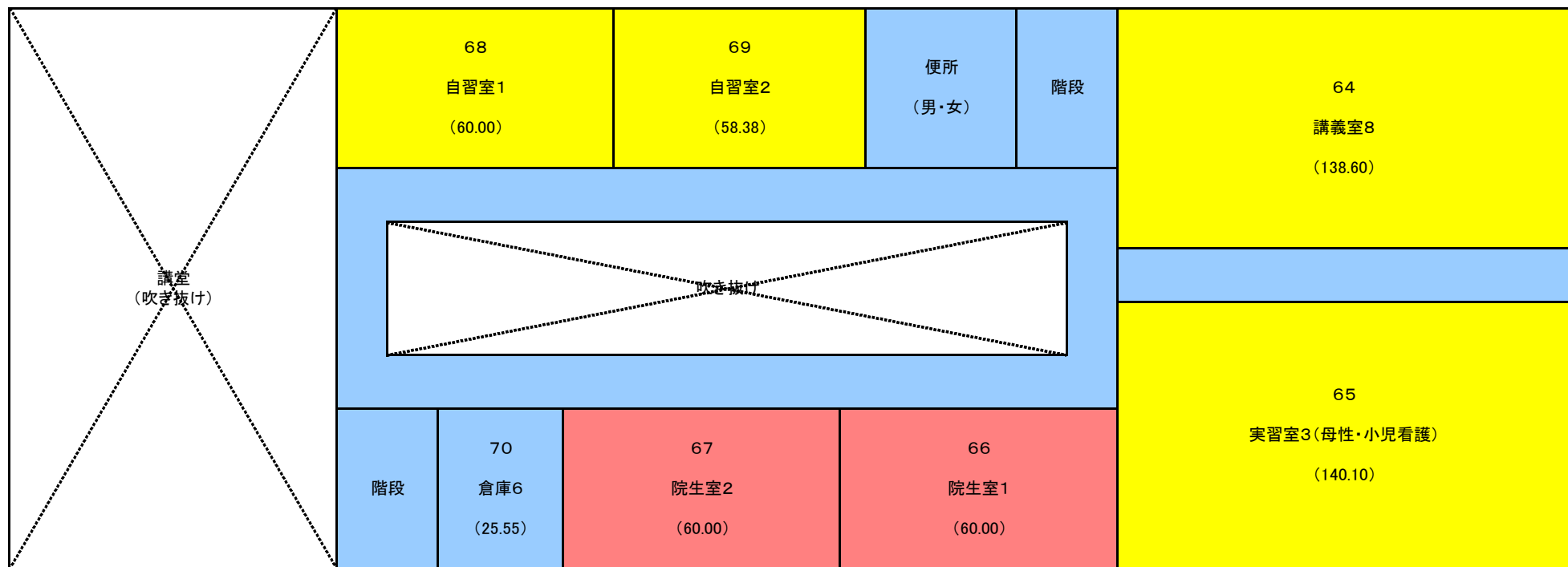
■ : 学部専用

■ : 大学院専用

■ : 共用

注) 室名下段は面積(単位㎡)

旧機構研修センター棟(平成22年度～平成23年度)



2階

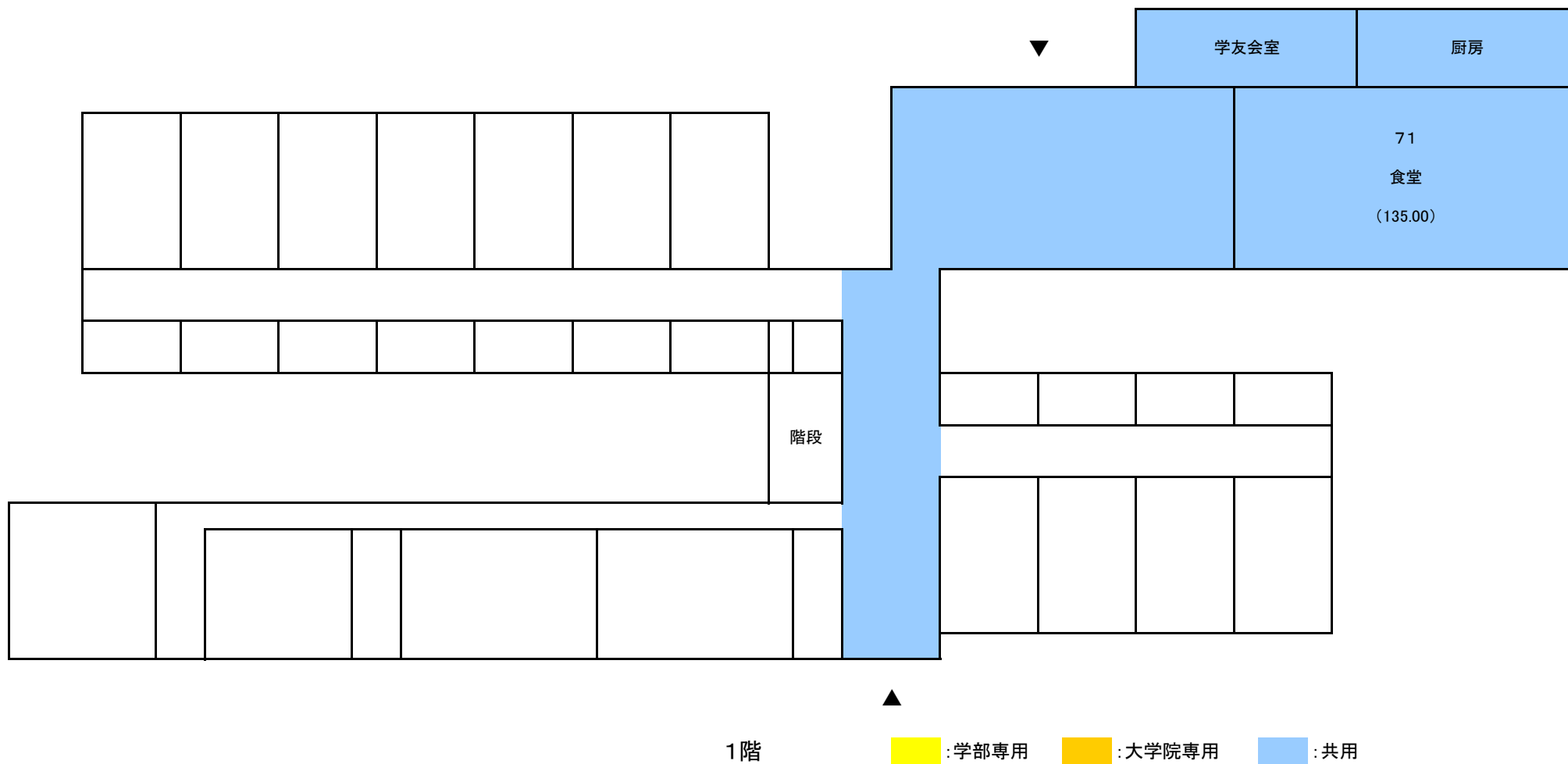
学部専用

大学院専用

共用

注)室名下段は面積(単位m²)

旧機構研修センター宿舎棟(平成22年度～平成23年度)



注) 室名下段は面積(単位㎡)

東京医療保健大学東が丘看護学部等校舎 主要室リスト 新旧対照表

平成22年度～平成23年度

旧					新					
NO	室名	階数	棟	階	部屋番号	室名	面積(m ²)	棟	階	備考
1	実習室1(在宅看護実習室)	94.36	旧機構研修センター棟	1F	15	実習室1(在宅看護実習室)・大教室	152.28	旧看護研修研究センター棟	3F	
2	同上準備室	24.00	〃	〃	—	—	—	—	—	
3	講義室1	36.91	〃	〃	28	講義室1	46.03	旧看護研修研究センター棟	4F	
4	講義室2	35.00	〃	〃	29	講義室2	44.20	〃	4F	
5	講義室3	44.87	〃	〃	1	講義室3	66.30	旧看護研修研究センター棟	2F	
6	講義室4	40.72	〃	〃	2	講義室4	62.05	〃	2F	
7	講師控室	18.21	〃	〃	60	講師控室	36.91	旧機構研修センター棟	1F	
8	図書室	80.50	〃	〃	26	図書室	191.24	旧看護研修研究センター棟	4F	
9	器材庫1	18.77	〃	〃	13	器材庫1	23.93	〃	2F	
10	事務室	35.04	〃	〃	56	事務室1	35.04	旧機構研修センター棟	1F	
11	講堂	260.00	〃	〃	62	講堂	260.00	〃	1F	
12	実習室2(基礎・成人・老年看護)	168.00	〃	2F	16	実習室2(基礎・成人・老年看護)	178.63	旧看護研修研究センター棟	3F	
13	実習室3(母性・小児看護)	113.00	〃	〃	65	実習室3(母性・小児看護)	140.10	旧機構研修センター棟	2F	
14	同上兼用準備室	21.91	〃	〃	—	—	—	—	—	
15	器材庫2	25.55	〃	〃	50	器材庫2	13.57	旧看護研修研究センター棟	5F	
16	講義室5(パソコン実習室)	60.00	〃	〃	4	講義室5(パソコン実習室)	90.23	〃	2F	
17	講義室6	58.38	〃	〃	3	講義室6	88.40	〃	2F	
18	講義室7	60.00	〃	〃	38	講義室7	247.46	〃	5F	
19	講義室8	60.00	〃	〃	64	講義室8	138.60	旧機構研修センター棟	2F	
20	理事長室	26.25	旧機構研修センター宿舎棟	1F	—	—	—	—	—	
21	学部長室	26.25	〃	〃	9	学部長室	28.77	旧看護研修研究センター棟	2F	
22	会議室	26.25	〃	〃	10	会議室1	28.91	〃	2F	
23	応接室1～3(3室)	28.11	〃	〃	—	—	—	—	—	
24	保健室	26.25	〃	〃	12	保健室	14.38	旧看護研修研究センター棟	2F	
25	自習室1	26.25	〃	〃	68	自習室1	60.00	旧機構研修センター棟	2F	
26	ロッカー室1～6(6室)	106.86	〃	〃	53	女子ロッカー室	80.50	〃	1F	
					54	男子ロッカー室	18.77	〃	1F	
27	倉庫1～5(5室)	53.24	〃	〃		倉庫1～5(14.25.37.52.63)	57.48	旧看護研修研究センター棟 旧機構研修センター棟	2～5F 1F	
28	更衣室1、2(2室)	30.00	旧機構研修センター宿舎棟	1F	—	—	—	—	—	
29	食堂	135.00	〃	〃	71	食堂	135.00	旧機構研修センター宿舎棟	1F	
30	研究室1～6(6室)	157.50	〃	2F		研究室1～6(5.6.7.8.17.18)	90.62	旧看護研修研究センター棟	2～3F	
31	セミナー室1～3(3室)	71.73	〃	〃		セミナー室1～3(30.31.36)	115.92	〃	4F	
32	助手室1～6(6室)	56.22	〃	〃	41	助手室	45.12	〃	5F	

旧					新					
NO	室名	階数	棟	階	部屋番号	室名	面積(m ²)	棟	階	備考
33	自習室2、3(2室)	18.74	〃	〃	69	自習室2	58.38	旧機構研修センター棟	2F	
34	倉庫6、7(2室)	8.25	〃	〃	70	倉庫6	25.55	〃	2F	
35	研究室7～11(5室)	131.25	旧機構研修センター宿舎棟	3F		研究室7～11(19.20.21.22.32)	73.57	旧看護研修研究センター棟	3～4F	
36	予備室1	26.25	〃	〃	23	演習室1	28.91	〃	3F	
37	院生室1～9(9室)	101.21	〃	〃	66	院生室1	60.00	旧機構研修センター棟	2F	
38	講師室1、2(2室)	52.50	〃	〃		研究室17～18(44.45)	30.16	旧看護研修研究センター棟	5F	
39	倉庫8、9(2室)	8.25	〃	〃	—	—	—	—	—	
40	研究室12～16(5室)	131.25	〃	4F		研究室12～16(33.34.35.42.43)	77.37	旧看護研修研究センター棟	4～5F	
41	予備室2	26.25	〃	〃	24	演習室2	28.91	〃	3F	
42	院生室10～18(9室)	101.21	〃	〃	67	院生室2	60.00	〃	2F	
43	講師室3、4(2室)	52.50	〃	〃		研究室19～20(46.47)	30.16	〃	5F	
44	倉庫10、11(2室)	8.25	〃	〃	—	—	—	—	—	
—	—	—	—		11	学生相談室	14.53	旧看護研修研究センター棟	2F	
—	—	—	—		27	書庫	40.74	〃	4F	
—	—	—	—		39	講義室7準備室(サーバー室)	16.47	〃	5F	
—	—	—	—		40	会議室2	45.12	〃	5F	
—	—	—	—		48	研究室21	15.08	〃	5F	
—	—	—	—		49	研究室22	15.08	〃	5F	
—	—	—	—		51	演習室3	27.38	〃	5F	
—	—	—	—		55	学生ホール	94.36	旧機構研修センター棟	1F	
—	—	—	—		57	事務室2	35.00	〃	1F	
—	—	—	—		58	事務室3	44.87	〃	1F	
—	—	—	—		59	入試室	40.72	〃	1F	
—	—	—	—		61	サーバー室	18.21	〃	1F	

東京医療保健大学 FD 委員会規程

(設置)

第1条 東京医療保健大学の教職員の資質の維持向上を図るため、FD委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(任務)

第2条 委員会は、授業内容・方法の改善を図るとともに、教員個々人の教育力・研究力の維持向上を図る。さらに、大学運営に対する意識の啓発や学生支援のあり方等に関する研修会等を実施し大学教員としての専門的な能力を高めることを目的とする。

(構成)

第3条 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 大学経営会議で任命する専任教員
- (2) 大学経営会議室長
- (3) 事務局長
- (4) 教務部長
- (5) 企画部長

(審議事項)

第4条 委員会は次の事項を審議立案する。

- (1) 授業内容・方法の改善
- (2) 研究推進体制の整備
- (3) 各種研修会、研究会の実施
- (4) 外部研究費の導入の推進
- (5) 職員研修会等の実施
- (6) その他FDに関する事項

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、大学経営会議にて任命する。

(事務)

第6条 委員会に関する事務は、企画部が行う。

附 則 この規程は、平成17年4月1日より施行する。
この規程は、平成18年2月15日より施行する。

21.10.7

在学生、教職員 各位

学長 小林寛伊

平成 20 年度授業評価アンケートの実施結果について

本学では、教育の質の向上を図るため、皆様のご協力のもと全科目について授業評価アンケートを実施しておりますが、このたび平成 20 年度の実施結果がまとまりましたのでご報告いたします。

在学生のみなさんから提出していただいた授業評価アンケートについては、各科目の担当教員が 1 枚ずつ目を通してその感想及び授業への工夫等をまとめた上で、各学科長において整理願ったものを別紙のとおり公表いたします。

また、あわせて、授業評価アンケート結果についての概要及び質問項目別集計結果等についても、別紙のとおり公表いたします。

この実施結果を生かして授業内容・方法の創意工夫を行うなど、今後も教育の質の向上に努めることといたしますので、よろしく願いいたします。

看護学科の授業評価結果に対する考察

看護学科・学科長 坂本 すが

1. 授業評価アンケートに関して

総合評価は全体的には 4 前後でした。学生が自ら評価する意欲的に授業に出席したかどうかの項目では、学生の出席率が高い点になっていました。しかし学生にとってより重要である「授業内容がよく理解できたか」という評価は領域によっては多少ばらつきがありました。この点に関しましては授業内容が詰め込みすぎているか各領域でお互い評価をし、学生がより分かりやすいような授業方法を考えていきます。

また「教員の熱意があった」と高い評価をいただきました。学生が授業を理解し、高い意欲を持てるように、更なる工夫をし、分かる授業にしていきます。各領域の教員からもそれぞれ改善策が出されています。一つ一つ学生の理解度を評価しながら進めていきたいと思えます。

2. 授業において工夫した点

各教員から改善点が出されました。

- ① 演習形式で行なうワークに個別に理解度の向上が図れるように複数の教員が対応した。
- ② 具体的な支援方法は教員があらかじめ詳細にすり合わせをして望んだ。
- ③ 授業で取り扱った内容をテストするなど、学生の意欲が出るように意識した。
- ④ 授業ごとに学生の意見、感想を聞き、それを資料やパワーポイントに反映させていきました。
- ⑤ 記載されていた質問や疑問点は、次の授業で答えるようにした。

3. 今後の授業について

授業評価を各領域でさらに詳細に分析し、改善したいと思えます。各領域がばらばらな講義にならないように、年 2 回全体の授業報告会をしたいと思えます。看護学科が今年度の学生に対してよい授業や教育が行なえるように全体の教員で発展させていきます。そのためには教員が自ら成長するための研修プログラムも導入していきます。

4. 学生に対して

看護学科では看護師国家試験に合格できることを最優先にしています。しかし、それだけではありません。看護師は国家試験では測れない能力も現場で必要となります。知的な部分は国家試験でも評価されますが、それだけでは現場では仕事できません。例えばチームとしてコミュニケーション能力。確実な技術の実施、それが妥当かどうかの判断力、予測力、そしてそれらを支える倫理的な態度です。

教員は学生が将来において問題を抱えたとき、自ら考え行動できる能力を培える教育を探求し、実行していきたいと思っています。みなさんもそのための肥やしになる多くの本を読み、教養を積み、仲間を思いやり、人間としての素養の基盤を大学で築いてください。自らが秘めている能力を発見し、発揮できるようにしてください。

教員もサポートします。がんばってください。

医療栄養学科の授業評価結果に対する考察

医療栄養学科・学科長 豊田 元

1. 授業評価アンケートに関して

総合評価は講義系の平均 4.0、実習系の 4.2 であり昨年よりも 0.2 ポイント良い結果が出ました。内容的には、実習系に興味が高く、理系の基礎科目に興味が高いように思われました。これは、昨年と同様です。学生の評価に対して、マイクの調子に関する苦言は減ったけれども板書が見えにくい、読みにくかったという苦情が数件ありましたので、工夫が必要と思われました。各教員からは、この評価を踏まえ改善・工夫に一層努力するという返事をいただき、各先生方の更なる授業評価向上に努力する姿勢が伺えました。

2. 授業において工夫した点に関して

各教員から以下のような回答が寄せられました。

- ① 論文としてのまとめ方を指導した。
- ② より最新の情報を伝えた。
- ③ 大きな声で授業を行った。
- ④ スライドの作り方に留意した。
- ⑤ 小テストを導入した。
- ⑥ 独自のテキストを作成した。
- ⑦ 学生の理解度を注意しつつ、講義を進行させることに留意した。

3. 今後の授業について

アンケートの結果を評価し、改善すべき点については努力したいと思います。

設備、特に板書の見づらさについて工夫が必要なように思われました。昨年指摘されていた、マイクの調子に対する指摘はなく、その点に注意を払い改善された結果と思われました。

国試の傾向と対策を重視しつつ、大学という学問の場にあることを基本の立場として、品性のある、また学生諸君の知的興味を惹起できるような授業を心がけたいと思っています。

4. 学生に対して

管理栄養士国家試験は年々難易度が上昇しています。十分な知識を持てるように、各教員もできる限りの支援はしますが、自己認識をして国家試験合格に向けて工夫・努力を期待します。特に、理科系の科目の出題頻度が上がってきておりますので、一層の努力が必要と思われま。教員側としては、e ランニングなどの国家試験に向けての有効と思われる手段を情報発信しますので、各自の事情で適宜選択をして管理栄養士国家試験合格に向けて努力をして下さい。

医療情報学科の授業評価結果に対する今後の対策

医療情報学科・学科長 大久保 憲

1. 授業評価アンケート結果の感想

学生自身の授業態度に対する評価は積極的で良好であり、概ね熱心だと思いました。したがって、授業評価についても正しく受け止めて忌憚なく回答していると理解しました。

授業評価アンケートにて抽出される項目は、主に悪いと思われる項目が多いため、良い点も抽出されると、双方の意見が得られてより詳しく評価できると思いました。

講義形式の授業と実践形式の授業とでは、評価項目や評価方法を変えるべきではないかと思われました。そして、医療情報学科では特に「実験」の評価を高めるべく、実験に関してその準備を怠らないようにしていかなくてはならないと思いました。各種の資格認定試験をパスできるようにレベルを設定して進めていくべきと思われます。

授業中の学生同士の私語があり、他の学生に迷惑となっている現状もあることから、魅力のある授業を展開することはもちろんですが、騒がしい学生に対して注意する方法についても、教育職員自身が考えていかなくてはならないと思います。

また、授業の進行がやや速いとする者もいましたので、学生の理解度を把握しながら質問時間を設けるなどして対応していく必要があります。常に学生とコミュニケーションを取りながら授業を進めていくことが大切だと思います。

ゼミの評価については、比較的高い評価が出ました。

試験結果などから判断すると、目標レベルに達している学生も多く、学生の自己評価ほど低いレベルではないと考えます。

今後は、質の高い授業ができるように、医療情報学科の教育職員間で教育プログラムについて検討していきたいと思えます。

2. 授業において工夫した点について

- 1) 講義や演習は、なるべくゆっくりと、ポイントとなる点を繰り返して、強調するように心がけました。
- 2) 学生の最新パソコンの OS にあわせて実験テキストを用意しました。
- 3) 実験室に実験用パソコンを設置することで、学生のパソコンを使った実験から解放されて、さまざまな不具合が解消されるようにしました。
- 4) 学生に関心を持ってもらえるように実験を企画し、その結果をもとに自分で考える体制を整えて準備しました。
- 5) 演習・講義の復習を繰り返して実施しました。
- 6) 無線式マウスを使用して、学生の中に入って授業をするように工夫しました。
- 7) VTR を利用して、聞く授業から見て聞く、見て考える授業へ脱皮を図りました。

3. 今後の授業にどう生かすか

実験科目の意義や、将来の仕事との関係を丁寧に説明し、学習の動機づけをはかります。

プリント、マルチメディア、板書をバランスよく取り入れて、興味ある授業を展開していきたいと考えています。

一方的な講義ではなく、学生が講義に参加して積極的な理解ができるように工夫したいと思います。

また、各種の資格認定試験を視野に入れながら、学生に過大な負担を負わせないように、授業内容を見直していく必要があります。もう少しやさしくしなければならぬかについても検討してみます。

更に、学生の積極性を重視した授業構成としていきたいと思います。

演習などは、豊富な内容ですので、教育内容を厳選して、配布資料などを工夫していきます。

4. その他

積極的に学ぶという姿勢が見られない一部の学生が存在します。この時期を逃すと就職してからでは教えてもらえない基本を学ぶことはできません。頑張っていたきたいと思います。

講義内容につきましては、すべてパワーポイントの配布資料として配布できるものではありませんので、授業中に聞き取った事項を書きとめていく努力が大切です。

平成 20 年度授業評価アンケート結果についての概要

○本学では、開学当初の平成 17 年度から全授業科目について学生による授業評価アンケートを実施しています(平成 18 年度からは前期・後期の年 2 回実施)。

○この授業評価アンケート結果については当該教員に配布し、記述内容を確認した後、調査結果に対する感想及び授業内容・方法への改善などの取り組みについて記述したレポートを各教員から直接各学科長に提出することとしており、各学科長はこれらをまとめた上で、学科長としての感想をまとめ、学科長会議で報告した後、授業評価アンケート結果と併せて公表しております。

○授業評価アンケート結果の各質問項目別の集計結果については、昨年度からは、「そう思う」、「ややそう思う」、「どちらとも言えない」、「そう思わない」、「全くそう思わない」及び「無回答」ごとのそれぞれの割合(%)により表記して、前年度との比較がわかりやすくするとともに、自由記述については、「授業に対する肯定的評価」、「授業に対する批判・要望」、「施設・設備等への不満」及び「その他」について、その内容の主なものを表記して意見等が具体的にわかるように表記しております。

○今年度においては、昨年度と同様の表記に加え、質問項目ごとの経年比較ができるように、新たに年度別の比較グラフ化を図りましたが、これにより、平成 20 年度の授業評価結果における肯定的な回答の「そう思う」及び「ややそう思う」の割合の合計で見ると、質問項目のうち 5 つの大項目別の合計(ポイント)の高い順では、次のとおりです。

- ・ 学生として、自分自身の授業態度について 80,5% (対前年度 3,9%の増)
- ・ 教員の姿勢について 74,3% (同 6,3%の増)
- ・ 総合評価(この授業は総合的に満足できたと思うか) 71,1% (同 7,2%の増)
- ・ 教員の教え方について 70,9% (同 7,0%の増)
- ・ 授業内容について 69,3% (同 5,1%の増)

- いずれも対前年度に比べポイントが大きく増加していますが、平成17年度からの経年比較をみても、各項目とも着実にポイントが増えていることから、授業評価アンケート実施の効果が確実に上がっており、学生及び教員の双方に、良い結果をもたらしていると評価することができます。

- また、自由記述においては、「授業に対する批判・要望」が対前年度に比べ▲6.8%の37.6%、「施設・設備等への不満」が▲1.0%の0.6%、と減少し、「授業に対する肯定的評価」が4.9%増の47.6%となっており肯定的な評価が増えています。これは授業内容・方法の改善及び教育環境の整備充実が進んできていることの現れと理解することができます。

- これらのアンケート集計結果を、おって、学内に公表することにより、授業評価アンケートに対する学生の理解推進及び意識啓発が図られるとともに、授業内容・方法の改善・充実がより一層図られるものと判断されます。

平成20年度 授業評価アンケート結果

○全科目数 236科目

○調査対象者数 25,285人（延人数）

○総回答数 20,596枚（回答率 81%）

1. 質問項目別集計結果（上段（ ）は平成19年度アンケート結果）

質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I 学生として、自分自身の授業態度について	%	%	%	%	%	%	%
1. 授業態度はよかったと思うか。	(37.6) 39.9	(37.1) 38.7	(21.6) 18.9	(2.9) 1.9	(0.7) 0.5	(0.1) 0.1	(100) 100
2. 出席率はよかったと思うか。	(63.6) 63.2	(21.4) 24.9	(12.5) 10.1	(1.9) 1.4	(0.5) 0.3	(0.1) 0.1	(100) 100
3. 積極的に取り組んだと思うか。	(33.9) 37.1	(36.1) 37.6	(25.2) 22.0	(3.7) 2.4	(1.0) 0.7	(0.1) 0.2	(100) 100
計	(45.0) 46.8	(31.6) 33.7	(19.8) 17.0	(2.8) 1.9	(0.7) 0.5	(0.1) 0.1	(100) 100
II 授業内容について	%	%	%	%	%	%	%
4. 授業に興味・関心が持てたと思うか。	(31.1) 34.4	(39.0) 40.7	(23.7) 20.7	(4.5) 3.0	(1.6) 1.0	(0.1) 0.2	(100) 100
5. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(20.6) 24.6	(37.9) 39.6	(31.2) 28.8	(7.9) 5.1	(2.3) 1.7	(0.1) 0.2	(100) 100
6. この授業内容は将来役立つと思うか。	(38.3) 40.1	(34.3) 37.3	(22.2) 19.4	(3.8) 2.1	(1.3) 0.9	(0.1) 0.2	(100) 100
7. この授業は他学科の人等にも薦めたいと思うか。	(24.8) 26.2	(30.6) 34.2	(34.4) 31.6	(6.4) 4.9	(3.7) 2.9	(0.1) 0.2	(100) 100
計	(28.7) 31.3	(35.5) 38.0	(27.9) 25.1	(5.6) 3.8	(2.2) 1.6	(0.1) 0.2	(100) 100
III 教員の教え方について	%	%	%	%	%	%	%
8. 授業はシラバスに沿って行われたと思うか。	(30.9) 35.1	(36.4) 37.4	(28.6) 24.9	(2.7) 1.6	(1.1) 0.7	(0.3) 0.3	(100) 100
9. 授業に集中できる雰囲気が保たれていたと思うか。	(29.8) 35.0	(35.5) 37.8	(27.2) 23.4	(5.7) 2.7	(1.7) 0.9	(0.1) 0.2	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(32.8) 37.5	(32.4) 35.2	(25.1) 22.0	(6.8) 3.7	(2.7) 1.3	(0.2) 0.3	(100) 100
11. 教員は適切に板書を活用したと思うか。	(28.7) 31.6	(31.9) 36.3	(30.5) 26.8	(6.3) 3.8	(2.4) 1.3	(0.2) 0.2	(100) 100
12. 教員は教科書・プリントを適切に用いたと思うか。	(32.9) 37.1	(34.3) 35.8	(25.9) 23.2	(4.9) 2.4	(1.8) 1.3	(0.2) 0.2	(100) 100
13. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(30.0) 34.5	(32.5) 35.6	(30.4) 25.7	(5.2) 2.7	(1.6) 1.2	(0.3) 0.3	(100) 100
14. パワーポイント等、マルチメディアの利用は適切だったと思うか。	(29.2) 33.9	(29.7) 32.8	(33.4) 28.2	(4.8) 2.8	(2.4) 1.5	(0.5) 0.8	(100) 100
計	(30.6) 35.0	(33.3) 35.9	(28.7) 24.9	(5.2) 2.8	(1.9) 1.2	(0.3) 0.2	(100) 100

質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
IV 教員の姿勢について	%	%	%	%	%	%	%
15. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(34.4) 38.1	(34.9) 37.2	(24.7) 21.0	(4.0) 2.5	(1.7) 1.0	(0.3) 0.2	(100) 100
16. 教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(39.2) 42.7	(33.8) 35.0	(22.3) 19.1	(3.0) 1.9	(1.4) 0.9	(0.3) 0.4	(100) 100
17. 教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか。	(27.7) 32.8	(33.9) 36.9	(29.7) 24.4	(5.9) 3.8	(2.5) 1.8	(0.3) 0.3	(100) 100
計	(33.8) 37.9	(34.2) 36.4	(25.6) 21.5	(4.3) 2.7	(1.8) 1.3	(0.3) 0.2	(100) 100
V 総合評価	%	%	%	%	%	%	%
18. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(28.0) 32.5	(35.9) 38.6	(26.2) 22.1	(5.5) 3.0	(2.3) 1.5	(2.1) 2.3	(100) 100
全質問項目の平均	(33.0) 36.5	(33.8) 36.2	(26.3) 22.9	(4.8) 2.9	(1.8) 1.2	(0.3) 0.3	(100) 100

2. 自由記述集計結果

○回答者件数 2,250件

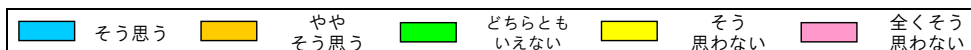
内容	件数	主なもの
授業に対する肯定的評価	1,070	<ul style="list-style-type: none"> ・面白い授業だった。 ・楽しく、充実した授業だった。 ・熱意が伝わる授業だった。 ・興味・関心が持てる授業だった。 ・分かりやすく、ためになる授業だった。
授業に対する批判・要望	834	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のスピードが速過ぎた。 ・板書・説明が分かりづらかった。 ・声が聞き取りにくかった(マイクを使って欲しい)。 ・授業中私語が多くうるさかった(注意して欲しい)。 ・教え方を統一して欲しい。
施設・設備等への不満	13	<ul style="list-style-type: none"> ・教室が狭い。 ・ホワイトボードが見にくい。 ・空調が悪い(寒い)。
その他	333	<ul style="list-style-type: none"> ・授業変更が多すぎた。 ・課題が多くて大変だった。 ・内容が難しく、寝てしまった(眠たくなった)。 ・丁寧な授業だったが、難しく理解出来なかった。 ・実習先と大学の連携が良くなかった。 ・実習ではアドバイスを貰えて良かった。
計	2,250	

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

項目\年度	17年度	18年度	19年度	20年度
全科目数	72 科目	162 科目	219 科目	236 科目
延べ調査対象者数	10,594 人	19,861 人	25,209 人	25,285 人
総回答数 (回答率)	4,801枚 (45%)	16,732枚 (84%)	20,558枚 (82%)	20,596枚 (81%)

◆ 年度別・質問項目別集計結果 経年比較 (無回答は含まない)

I 学生として、自分自身の授業態度について



1. 授業態度はよかったと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
17年度		38.9%	32.5%	20.7%	4.3%	0.8%	38.9	32.5	71.4	—
18年度		40.6%	34.0%	21.2%	3.4%	0.7%	40.6	34.0	74.6	+3.2
19年度		37.6%	37.1%	21.6%	2.9%	0.7%	37.6	37.1	74.7	+0.1
20年度		39.9%	38.7%	18.9%	1.9%	0.5%	39.9	38.7	78.6	+3.9

2. 出席率はよかったと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
17年度		66.9%	19.2%	9.7%	2.3%	0.6%	66.9	19.2	86.1	—
18年度		66.0%	20.4%	8.8%	2.1%	0.5%	66.0	20.4	86.4	+0.3
19年度		63.6%	21.4%	12.5%	2.9%	0.5%	63.6	21.4	85.0	-1.4
20年度		63.2%	24.9%	10.1%	1.4%	0.3%	63.2	24.9	88.1	+3.1

3. 積極的に取り組んだと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
17年度		35.0%	33.3%	24.3%	4.8%	1.0%	35.0	33.3	68.3	—
18年度		36.3%	34.0%	24.5%	3.9%	1.0%	36.3	34.0	70.3	+2.0
19年度		33.9%	36.1%	25.2%	3.7%	1.0%	33.9	36.1	70.0	-0.3
20年度		37.1%	37.6%	22.0%	2.4%	0.7%	37.1	37.6	74.7	+4.7

「計」(質問項目 1. ~ 3.)

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
17年度		46.9%	28.3%	18.2%	3.8%	0.8%	46.9	28.3	75.2	—
18年度		47.7%	29.5%	18.8%	3.1%	0.7%	47.7	29.5	77.2	+2.0
19年度		45.0%	31.6%	19.8%	2.8%	0.7%	45.0	31.6	76.6	-0.6
20年度		46.8%	33.7%	17.0%	1.9%	0.5%	46.8	33.7	80.5	+3.9

II 授業内容について

4. 授業に興味・関心が持てたと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
17年度		36.4%	37.0%	19.7%	4.3%	1.6%	36.4	37.0	73.4	—
18年度		33.3%	37.6%	22.4%	4.4%	2.0%	33.3	37.6	70.9	-2.5
19年度		31.1%	39.0%	23.7%	4.5%	1.6%	31.1	39.0	70.1	-0.8
20年度		34.4%	40.7%	20.7%	3.0%	1.0%	34.4	40.7	75.1	+5.0

II 授業内容について

5. 授業内容をよく理解できたと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		23.7%	35.0%	27.9%	8.2%	3.2%	23.7	35.0	58.7	—
18年度		22.4%	36.0%	30.1%	8.4%	2.9%	22.4	36.0	58.4	-0.3
19年度		20.6%	37.9%	31.2%	7.9%	2.3%	20.6	37.9	58.5	+0.1
20年度		24.6%	39.6%	28.8%	5.1%	1.7%	24.6	39.6	64.2	+5.7

6. この授業内容は将来役立つと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		44.6%	32.2%	16.6%	3.4%	1.2%	44.6	32.2	76.8	—
18年度		40.8%	33.5%	20.1%	3.6%	1.8%	40.8	33.5	74.3	-2.5
19年度		38.3%	34.3%	22.2%	3.8%	1.3%	38.3	34.3	72.6	-1.7
20年度		40.1%	37.3%	19.4%	2.1%	0.9%	40.1	37.3	77.4	+4.8

7. この授業は他学科の人等にも薦めたいと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		27.2%	27.9%	32.1%	7.1%	4.6%	27.2	27.9	55.1	—
18年度		26.3%	28.8%	32.9%	6.7%	5.0%	26.3	28.8	55.1	+0.0
19年度		24.8%	30.6%	34.4%	6.4%	3.7%	24.8	30.6	55.4	+0.3
20年度		26.2%	34.2%	31.6%	4.9%	2.9%	26.2	34.2	60.4	+5.0

「計」(質問項目 4. ~ 7.)

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		33.0%	33.0%	24.1%	5.8%	2.6%	33.0	33.0	66.0	—
18年度		30.7%	34.0%	26.4%	5.8%	2.9%	30.7	34.0	64.7	-1.3
19年度		28.7%	35.5%	27.9%	5.6%	2.2%	28.7	35.5	64.2	-0.5
20年度		31.3%	38.0%	25.1%	3.8%	1.6%	31.3	38.0	69.3	+5.1

III 教員の教え方について

8. 授業はシラバスに沿って行われたと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		33.0%	30.9%	31.0%	2.5%	1.2%	33.0	30.9	63.9	—
18年度		32.9%	33.2%	29.4%	2.8%	1.3%	32.9	33.2	66.1	+2.2
19年度		30.9%	36.4%	28.6%	2.7%	1.1%	30.9	36.4	67.3	+1.2
20年度		35.1%	37.4%	24.9%	1.6%	0.7%	35.1	37.4	72.5	+5.2

9. 授業に集中できる雰囲気が保たれていたと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		33.2%	32.6%	23.6%	6.9%	2.2%	33.2	32.6	65.8	—
18年度		31.5%	33.2%	26.0%	5.7%	2.4%	31.5	33.2	64.7	-1.1
19年度		29.8%	35.5%	27.2%	5.7%	1.7%	29.8	35.5	65.3	+0.6
20年度		35.0%	37.8%	23.4%	2.7%	0.9%	35.0	37.8	72.8	+7.5

Ⅲ 教員の教え方について

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		40.2%	29.3%	19.6%	7.0%	2.4%	40.2	29.3	69.5	—
18年度		36.0%	30.8%	22.9%	7.2%	2.9%	36.0	30.8	66.8	-2.7
19年度		32.8%	32.4%	25.1%	6.8%	2.7%	32.8	32.4	65.2	-1.6
20年度		37.5%	35.2%	22.0%	3.7%	1.3%	37.5	35.2	72.7	+7.5

11. 教員は適切に板書を活用したと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		33.8%	28.5%	25.9%	7.6%	2.8%	33.8	28.5	62.3	—
18年度		31.2%	29.6%	28.1%	7.6%	3.2%	31.2	29.6	60.8	-1.5
19年度		28.7%	31.9%	30.5%	6.3%	2.4%	28.7	31.9	60.6	-0.2
20年度		31.6%	36.3%	26.8%	3.8%	1.3%	31.6	36.3	67.9	+7.3

12. 教員は教科書・プリントを適切に用いたと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		39.0%	32.2%	20.1%	5.5%	2.0%	39.0	32.2	71.2	—
18年度		35.4%	32.4%	24.2%	5.4%	2.3%	35.4	32.4	67.8	-3.4
19年度		32.9%	34.3%	25.9%	4.9%	1.8%	32.9	34.3	67.2	-0.6
20年度		37.1%	35.8%	23.2%	2.4%	1.3%	37.1	35.8	72.9	+5.7

13. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		31.7%	28.3%	29.1%	6.9%	2.5%	31.7	28.3	60.0	—
18年度		32.4%	30.5%	28.5%	5.7%	2.5%	32.4	30.5	62.9	+2.9
19年度		30.0%	32.5%	30.4%	5.2%	1.6%	30.0	32.5	62.5	-0.4
20年度		34.5%	35.6%	25.7%	2.7%	1.2%	34.5	35.6	70.1	+7.6

14. パワーポイント等、マルチメディアの利用は適切だったと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		29.5%	21.7%	37.6%	5.3%	3.9%	29.5	21.7	51.2	—
18年度		32.0%	26.0%	32.7%	5.1%	3.0%	32.0	26.0	58.0	+6.8
19年度		29.2%	29.7%	33.4%	4.8%	2.4%	29.2	29.7	58.9	+0.9
20年度		33.9%	32.8%	28.2%	2.8%	1.5%	33.9	32.8	66.7	+7.8

「計」(質問項目 8. ～ 14.)

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		34.3%	29.1%	26.7%	6.0%	2.4%	34.3	29.1	63.4	—
18年度		33.0%	30.8%	27.4%	5.8%	2.6%	33.0	30.8	63.8	+0.4
19年度		30.6%	33.3%	28.7%	5.2%	1.9%	30.6	33.3	63.9	+0.1
20年度		35.0%	35.9%	24.9%	2.8%	1.2%	35.0	35.9	70.9	+7.0

IV 教員の姿勢について

15. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		42.6%		31.8%	19.0%	3.8%	42.6	31.8	74.4	—
18年度		37.7%		33.5%	22.1%	4.1%	37.7	33.5	71.2	-3.2
19年度		34.4%		34.9%	24.7%	4.0%	34.4	34.9	69.3	-1.9
20年度		38.1%		37.2%	21.0%	2.8%	38.1	37.2	75.3	+6.0

16. 教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		46.8%		31.2%	16.0%	3.2%	46.8	31.2	78.0	—
18年度		42.9%		31.7%	19.9%	3.2%	42.9	31.7	74.6	-3.4
19年度		39.2%		33.8%	22.3%	3.0%	39.2	33.8	73.0	-1.6
20年度		42.7%		35.0%	19.1%	1.9%	42.7	35.0	77.7	+4.7

17. 教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		32.5%		30.5%	24.7%	7.7%	32.5	30.5	63.0	—
18年度		29.7%		31.7%	28.2%	6.6%	29.7	31.7	61.4	-1.6
19年度		27.7%		33.9%	29.7%	5.9%	27.7	33.9	61.6	+0.2
20年度		32.8%		36.9%	24.4%	3.8%	32.8	36.9	69.7	+8.1

「計」(質問項目 15. ~ 17.)

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		40.7%		31.2%	19.9%	4.8%	40.7	31.2	71.9	—
18年度		36.8%		32.3%	23.4%	4.6%	36.8	32.3	69.1	-2.8
19年度		33.8%		34.2%	25.6%	4.3%	33.8	34.2	68.0	-1.1
20年度		37.9%		36.4%	21.5%	2.7%	37.9	36.4	74.3	+6.3

V 総合評価

18. この授業は総合的に満足できたと思うか。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		32.6%		33.6%	22.2%	6.4%	32.6	33.6	66.2	—
18年度		29.6%		34.4%	24.5%	5.7%	29.6	34.4	64.0	-2.2
19年度		28.0%		35.9%	26.2%	5.5%	28.0	35.9	63.9	-0.1
20年度		32.5%		38.6%	22.1%	3.0%	32.5	38.6	71.1	+7.2

全質問項目の平均

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
17年度		37.1%		30.4%	23.3%	5.4%	37.1	30.4	67.5	—
18年度		35.3%		31.7%	24.9%	5.2%	35.3	31.7	67.0	-0.5
19年度		33.0%		33.8%	26.3%	4.8%	33.0	33.8	66.8	-0.2
20年度		36.5%		36.2%	22.9%	2.9%	36.5	36.2	72.7	+5.9

◆ 年度別 自由記述集計結果

年度\分類項目	授業に対する肯定的評価	授業に対する批判・要望	施設・設備等への不満	その他	総件数
17年度	※	※	※	※	(100.0%) 687
18年度	(48.7%) 1,412	(39.2%) 1,139	(1.8%) 52	(10.3%) 299	(100.0%) 2,902
19年度	(42.7%) 1,124	(43.8%) 1,153	(1.6%) 41	(11.9%) 312	(100.0%) 2,630
20年度	(47.6%) 1,070	(37.0%) 834	(0.6%) 13	(14.8%) 333	(100.0%) 2,250

※ 17年度の分類項目別集計はなし

※ ()内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す

